

農山漁村地域整備交付金の 事後評価について

滋賀県農業・農村振興地域整備計画

令和7年1月20日

滋賀県 農政水産部 耕地課・農村振興課

1

農山漁村地域整備計画 計画評価項目

計画評価項目

- (1) 交付対象事業の進捗状況
- (2) 事業効果の発現状況
- (3) 成果目標の目標値の実現状況
- (4) 今後の方針

農山漁村地域整備交付金実施要領第5条2項

農山漁村地域整備交付金の概要

- 農山漁村地域の活性化を図るため、農林水産業の基盤整備を進めるとともに、地震・津波や集中豪雨等の頻発化・激甚化に対応した防災・減災対策を推進することが重要。
- 都道府県又は市町村の裁量により、生産現場の強化や防災力の向上につながる強い農林水産業のための基盤づくりを推進。

交付金の仕組みと特徴

「農山漁村地域整備計画」を都道府県、市町村が策定して実施

農業農村基盤整備

森林基盤整備

水産基盤整備

海岸保全施設整備

地域の自主性に基づき、農・林・水にまたがる広範かつ多様な事業を自由に選択
(都道府県が各地区に予算を配分)

農山漁村地域整備と一体となって、事業効果を高めるために必要な効果促進事業の実施が可能

都道府県の裁量による弾力的かつ機動的な運用が可能
(農・林・水横断的な予算融通が可能)

自治体は計画・進捗状況・事後評価を公表
(客観性・透明性の確保)

※この他、盛土による災害の防止に向けた緊急的な対策等を支援

地域の創意工夫を活かした農山漁村地域の総合的な整備の実施

交付金を活用した事業の実施例

【農業農村基盤整備】



【水産基盤整備】



【森林基盤整備】



【海岸保全施設整備】



農山漁村地域整備計画とは

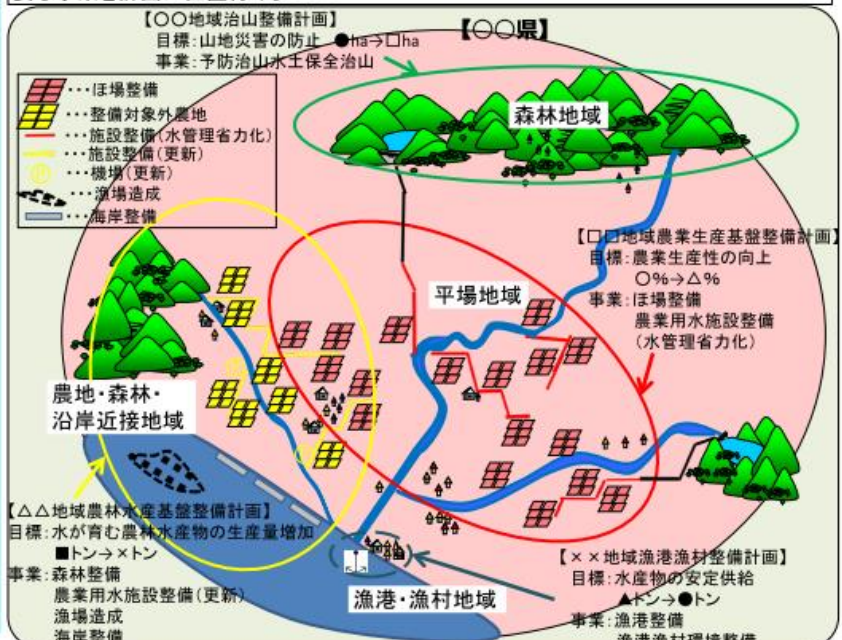
- 地域の実情に応じた整備が可能となるよう地方の自由度が高い計画策定を基本
(計画の範囲等は地方で決定)

農山漁村地域整備計画の概要

- (1) 計画の名称
- (2) 計画策定主体
〔都道府県、市町村〕
- (3) 対象市町村
〔計画策定範囲内の市町村名を記載〕
- (4) 計画の期間
〔おおむね3～5年の計画期間を記載〕
- (5) 計画の目標
事業の実施により実現しようとする目標を記載
- (6) 評価指標
計画の目標の実現状況等を評価するための指標を記載
- (7) 交付対象事業
計画に位置づける個別の事業地区を記載

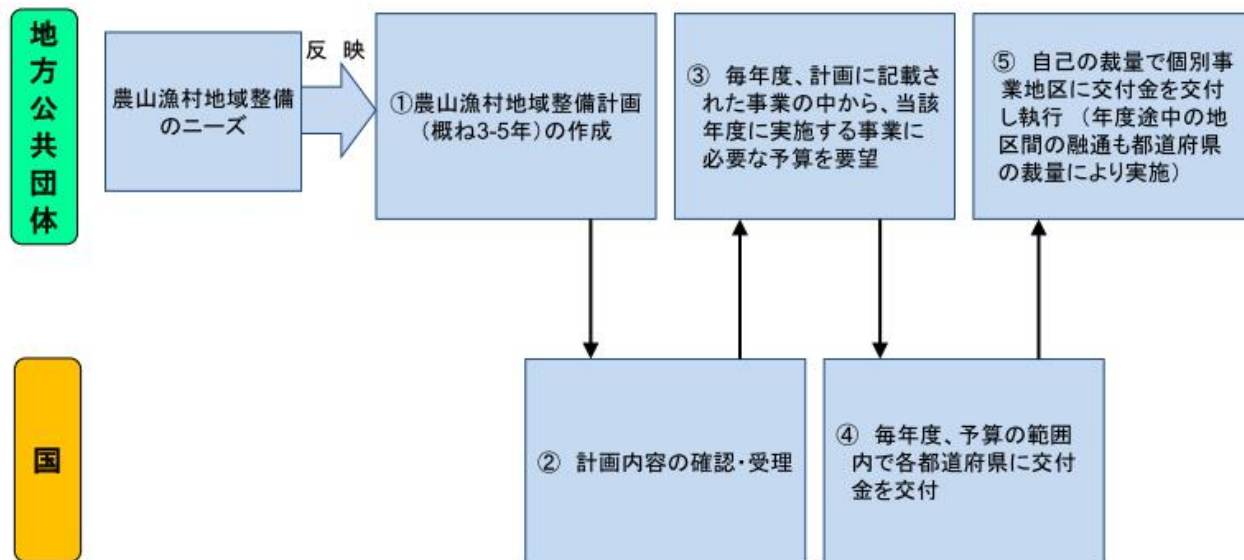
計画のイメージ例

地方公共団体が、地域の実情に応じて計画エリア・目標を設定し、その目標達成に必要な事業を計画に位置付け。



農山漁村地域整備交付金の流れ

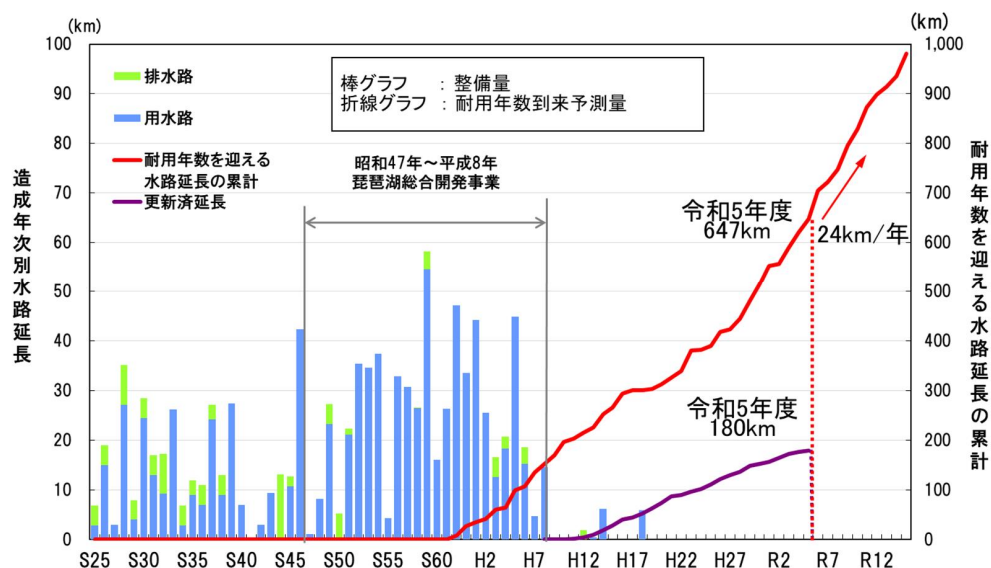
- 地方の事業ニーズに基づいた「農山漁村地域整備計画」に基づき、国は予算の範囲内で都道府県に交付金を交付
- 都道府県は**自らの裁量**により個別地区に交付金を交付



5

本県の農業生産基盤の現状について

- ・ 本県には、農業用ダムや揚排水機場などが136箇所、用排水路にあつては総延長約13,000kmが存在
- ・ 施設の多くは整備後40年以上を経過し、年々老朽化が進行



図：幹線的な水路の整備延長と標準的な耐用年数が到来する延長の推移（県全域）

6

- ・ 農業水利施設の老朽化に伴う揚水機の緊急停止や**漏水事故などの突発的な事故が頻発**
- ・ 特に本県では、琵琶湖から揚水ポンプで圧送する施設が多く、事故が発生すれば、**農業生産だけでなく、管を埋設した道路の陥没などにより、地域住民の生活にも影響**
- ・ 農地についても、ほ場整備から相当の年月が経っており、**暗きょ排水の機能不全など営農に支障をきたす事象**が発生しています。



圧送管破損漏水事故による被害状況

排水不良田の様子

7

本県の農村地域の現状について

- ・ 農業生産を支える農村において、農業者の減少、高齢化、混住化が進行し、**集落機能が低下**
- ・ 農業者の共同作業が支えてきた農業水利施設等の**維持管理体制が脆弱化**
- ・ 中山間地域においては、厳しい農業生産条件・生活環境のもとで、**耕作放棄地が増加傾向**
- ・ 老朽化が進む農業集落排水施設により**生活環境の維持が困難**
- ・ 農村集落の弱体化により農業・農村の**多面的機能の維持が困難**



排水路の泥上げ



棚田法面の草刈り



集落内の雪かき作業

8

農業農村整備事業について

滋賀県農業・水産業基本計画（令和3年3月策定）

基本理念

「県民みんなで創る 滋賀の「食と農」を通じた「幸せ」のもと
「人」を共通視点にして「経済」「社会」「環境」の4つの視点で

施策1

農業水利施設や農地等の農業生産における基礎的な資源
を次世代に引き継ぐ（視点：社会1、経済1、経済2）

施策2

集落の力と多様な主体との連携・協働により農山漁村の持つ
多面的価値を次世代に引き継ぐ（視点：社会2）

【農業農村整備事業関係予算】

農業農村整備事業
（補助事業）

農山漁村地域整備交付金
（交付金）

滋賀県農業・農村振興地域整備計画の概要

滋賀県農業・水産業基本計画の実現に向け、整備内容や
地区のニーズに合わせ関係予算を有効に活用し事業を推進

滋賀県農業・水産業基本計画

施策1

農業水利施設や農地
等の農業生産における
基礎的な資源を次世代
に引き継ぐ
（視点：社会1、経済1、経済2）

施策2

集落の力と多様な主体
との連携・協働により農
山漁村の持つ多面的価
値を次世代に引き継ぐ
（視点：社会2）

農山漁村地域整備計画

①水利施設整備

農業水利施設の保全・更新整備

②農村整備（ほ場整備等）

中山間地域等の農業生産基盤の
保全整備

③農地整備（農道整備）

農道等の保全整備

④農村整備

農業集落排水処理施設の機能
強化による生活環境の維持向上

農山漁村地域整備計画の4つの定量的指標を設定

1 (水利施設整備) 農業水利施設の保全更新整備により生産性の高い農地が保全される面積	75ha
2 (農村整備(ほ場整備等)) 中山間地域等における優良農地の保全面積	15.4ha
3 (農地整備(農道整備)) 農道環境整備により農地の通作条件等が改善される地域の農地面積	2,589ha
4 (農村整備) 農業集落排水処理施設の機能強化などにより生活環境の維持向上が図られる集落数	10集落

11

事業効果の発現状況と成果目標の目標値の実現状況 定量的指標の成果(その1)

「農業水利施設の保全更新整備により生産性の高い農地が保全される面積」

＜目標＞ 計画5カ年で、75haの農地に対する対策を実施

＜実績＞

地区名	主な事業内容	【目標】 農地面積	【成果】 農地面積
野洲川沿岸地区	水路改修ほか L=1,287m 揚水機場整備 N=1箇所	75ha	75ha

＜成果＞

75haの農地(受益地)で、農業用水の安定確保が図れ、生産性の高い農地が保全された。目標農地面積を達成できた。

12

事例紹介(その1)

水利施設整備事業 野洲川沿岸地区(湖南市・甲賀市)

野洲川より取水したかんがい用水の供給施設で、近年、老朽化による漏水等により用水供給に支障を来していたため、安定的な農業用水の確保のため更新整備を実施

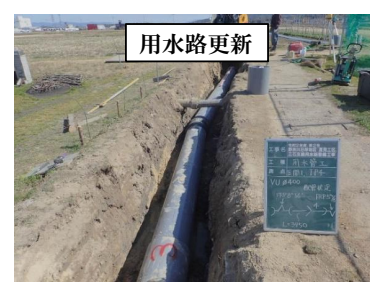
整備内容(R2年～R6年)

用水路改修 L=1,287m

揚水機場整備N=1箇所ほか

事業の成果

野洲川沿岸地区の用水路整備により安定的な農業用水の確保ができ、甲西南部地区のほ場整備の契機となり、さらなる優良農地の確保につながった。



13

定量的指標の成果(その2)

「中山間地域等における優良農地の保全面積」

＜目標＞ 計画5カ年で、15.4haの農地に対する対策を実施。

＜実績＞

地区名	整備内容	整備面積(ha)	
		目標	成果
杉山地区	区画整理工 A=14.1ha	15.4ha	14.1ha

＜成果＞

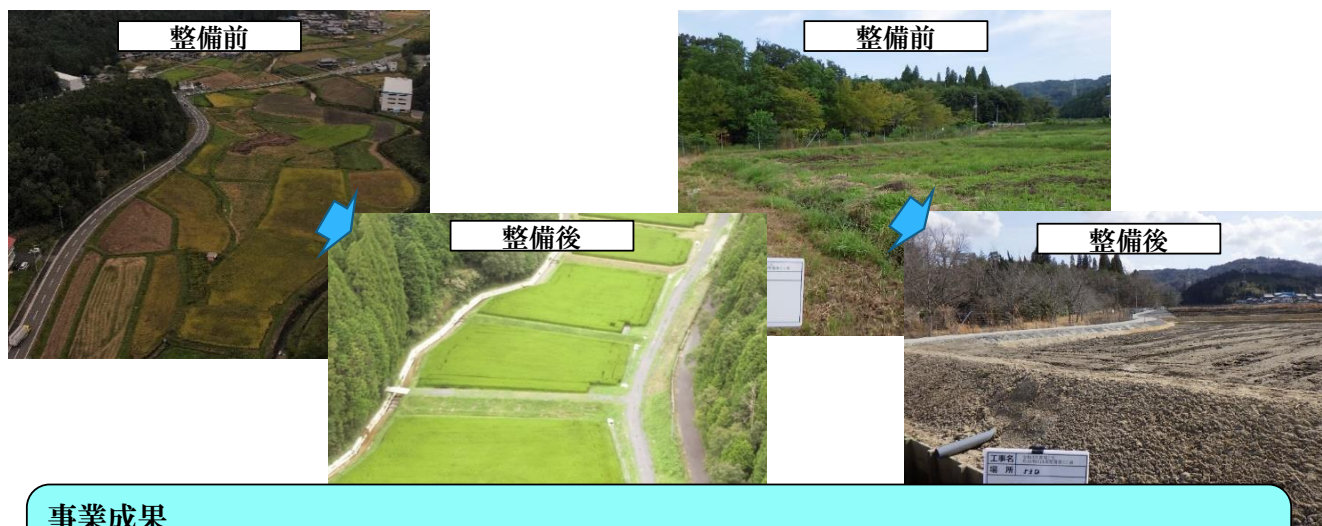
中山間地域の優良農地の保全として杉山地区を目標として掲げた。その杉山地区の実績面積で14.1ha区画整理を実施し、**中山間地域における優良農地の保全が図られ、目標面積の9割以上となり、概ね目標は達成できた。**※杉山地区で実測精査、地区除外により、整備面積が14.1haとなった。

14

事例紹介(その2)

農地環境整備事業 杉山地区(甲賀市)

ほ場が狭小で不整形、土水路のため、営農に多大な労力を費やしていたため、ほ場の大区画化、水路、道路の整備等により効率的な営農を実現するとともに、営農面では集落営農を目指し、農地の集積を実施。



事業成果

一部耕作放棄地を含めて農地整備を実施し、耕作放棄地解消を行った。また、新たな担い手となる営農組合を立ち上げにつながり、効率的かつ安定的な営農活動に資している。

15

定量的指標の成果(その3)

「通作条件等が改善される地域の農地面積」

＜計画＞ 計画5カ年で、2,589haの農地に対する対策を実施

＜実績＞

地区名	整備内容	効果(受益)面積(ha)	
		目標	成果
湖東彦根地区	交差点改良工 N=1箇所 橋梁工 N=1橋(3橋)	2,473ha	2,331ha
桐原馬淵 I 期地区	農道整備工 L=1.966km	116ha	116ha
計		2,589ha	2,447ha

＜成果＞

農道環境を整備し、効果受益面積の主要地域2,447haにおける通作条件の改善と安全性の確保を図り、9割以上の受益地で効果が得られ、概ね目標は達成できた。

※湖東彦根地区で未整備の橋梁2橋は令和8年度までに修繕し、通作条件を改善し成果達成する見込み。

16

事例紹介(その3)

農地整備事業 通作条件整備 基幹農道 保全対策型 湖東彦根地区(彦根市)

経年劣化による施設の機能劣化が生じており、また、一般車両の通行が増加により、農作業に支障をきたしていたため、交通量に対応した交通の円滑化及び安全確保の観点から交差点の改良整備、橋梁の補修等の交通安全対策を実施

整備内容:

交差点改良 N=1箇所(整備済み)

農道橋 N=3橋(N=2橋は未整備)

金剛寺JR跨線橋工事:主要工種整備完了

文禄橋、曾根沼1号橋梁修繕工事:

令和8年度完了予定

事業の成果

今回修繕により、施設の機能が保全され、対象受益地の交通の円滑化となり、安全の確保できた。



金剛寺JR跨線橋 舗装整備完成

17

定量的指標の成果(その4)

「農業集落排水処理施設の機能強化が図られる集落数」

＜目標＞ 計画5カ年で、10集落の機能を強化

＜実績＞

事業箇所数	主な事業内容	【目標】集落数	【成果】集落数
6地区	施設機能強化対策 1式	10集落	14集落

＜成果＞

14集落の農業集落排水処理施設の機能強化対策を実施し、施設の長寿命化と農村集落の生活環境の維持改善を図った。目標集落数を達成できた。

18

事例紹介(その4)

農業集落排水事業 佐久良奥之池第3地区(日野町)

供用開始後、20年以上が経過し、経年変化に伴い処理施設の機器の能力が低下に伴い、安定した処理が困難となっている。施設の長寿命化を図るため場内機器・制御機器の整備更新を実施。

整備内容：集落排水機能強化 1式



事業の成果

機器の機能回復により、安定した水処理、適正な維持管理が可能となり、対象集落の下水処理が安定して使用できるようになった。

19

事業効果の発現状況

1. 老朽化した農業水利施設の保全・更新対策を実施し、75haの農地で、農業用水の安定確保が図れ、生産性の高い農地が保全された。
2. 中山間地域等の農業生産基盤である農地や水路の整備により、対象地域の優良農地(14.1ha)が保全された。
3. 農道環境を整備し、2,447 ha の農地における通作条件の改善と安全性の確保を図った。
4. 農業集落排水処理施設14集落の機能強化対策を実施し、施設の長寿命化と生活環境の維持改善が図れた。

計画期間内に目標とした定量的指標をほぼ達成し、事業効果を発現した。

20

計画の進捗について

令和2年度以降、国の定額補助を活用した調査・計画など、新たな地区を順次、計画に位置づけ、目標達成に努めた。

	当初 (R2年度)		実績見込 (R6年度)		計画と実績の差	
	事業箇所数 (地区)	事業費 (百万円)	事業箇所数 (地区)	事業費 (百万円)	事業箇所数 (地区)	事業費 (百万円)
全体	27	3,447	37	3,788	10	341

- ・ 計画期間内に事業地区数および事業費等、概ね計画通り
- ・ 本計画期間内で継続中の地区は7地区。

21

今後の方針(案)

- ・ 本計画期間内で継続中の地区については、引き続き次期計画に位置づけ、事業効果の早期発現に努める。
- ・ 農業農村整備事業の推進にあたって、滋賀県農業・水産業基本計画に掲げる施策の実現に向け、引き続き、整備内容や地域のニーズに合わせ農山漁村地域整備交付金や補助事業を有効に活用し、計画的な事業の推進に努める。

22